

スーパーのハローズ

売れ残り食品 福祉施設へ

生活困窮者に食品を提供しているNPO法人フードバンクとくしま(FBとくしま、徳島市)と、スーパーのハローズ(本部・岡山県)が連携し、売れ残った食品をほぼ毎日、直接県内の福祉施設に無料で提供している。食べられるのに廃棄される「食品ロス」の削減と施設の食費軽減につながることから、FBとくしまは他のスーパーにも協力を呼び掛けている。

FBとくしまと連携

3月からハローズのは、FBとくしまに登録している障害者施設や包装不良のある缶飲料、施設担当者に希望料や菓子、消費期限がする店舗に取りに来て近い加工食品、野菜などが提供されており、くしまが食品を受け渡す手間が省けるほか、1100円に上る。施設側が不要と判断した食品はその場で除外提供を受けているの

ロス削減へ有効活用

県内5店舗
無料提供

できる利点もある。

里親として3人の子どもを養育するファミリーホーム高橋(阿南市下大野町太平)は、小松島市の江田店から週5日提供を受けている。運営する高橋芳子さん(69)は「食べ盛りなので乳製品や麺類をFBとくしまには他

頂けてありがたい。経費面で助かる」と感謝する。

中四国6県で80店を展開するハローズは、

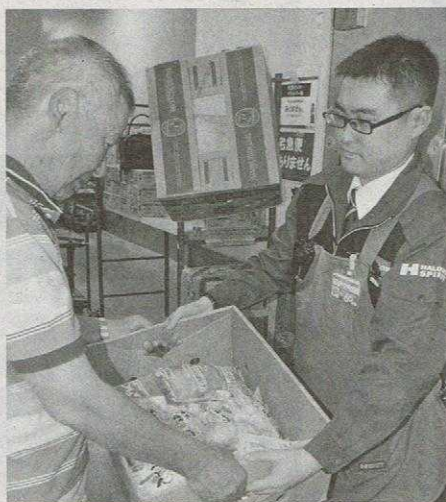
2015年3月から各地のFBを通して食品を提供しており、現在

は全店で月計4トになり、太田光一商品管理

室長は「食品ロスの削減はもちろん、福祉施設の皆さんに喜んで

もらえるし、店のPRにもなる」と言う。

さん(69)は「食べ盛りなので乳製品や麺類をFBとくしまには他



ハローズの従業員から食品を受け取る福祉施設の担当者＝小松島市江田町の江田店

FBとくしま 運営ボランティア不足

の登録団体からも「食だけでは十分に行き渡らぬ県内企業にも支援を品の提供を受けたい」と話している。清田麻利子理事「お願いしたい」と話している。長は「売れなくなったものが、ハローズの5店だ 食品を有効活用するた (新居和人)

NPO法人フードバンクとくしまは2013年8月に、スーパーなどに取りに不足。登録した福祉施設行くボランティアの少なさを生活困窮者の支援団体がある。徳島市昭和町3のを通じて食品を配っている。FB事務局には協力団体のニーズの高まりに反し活動職員1人とボランティアを支えるボランティアが不足しており、定期的に食運営の足かせになっている。週2回くま2回しか行けない。県庁や事業所など20ラフルを防ぐため、食品の配布は登録団体に限定している。14年度の13団体から17年度は51団体と、3年で4倍に増えた。食品を安定して確保するにはボランティアが常時5人ほど必要で、事務局は協力者を探している。食品を5・5ト、17年度10トと2倍増の増加にとどまっていを支援する会員団体・個人も募っている。問い合わせは事務局(電話088(679)1919)。(新居和人)